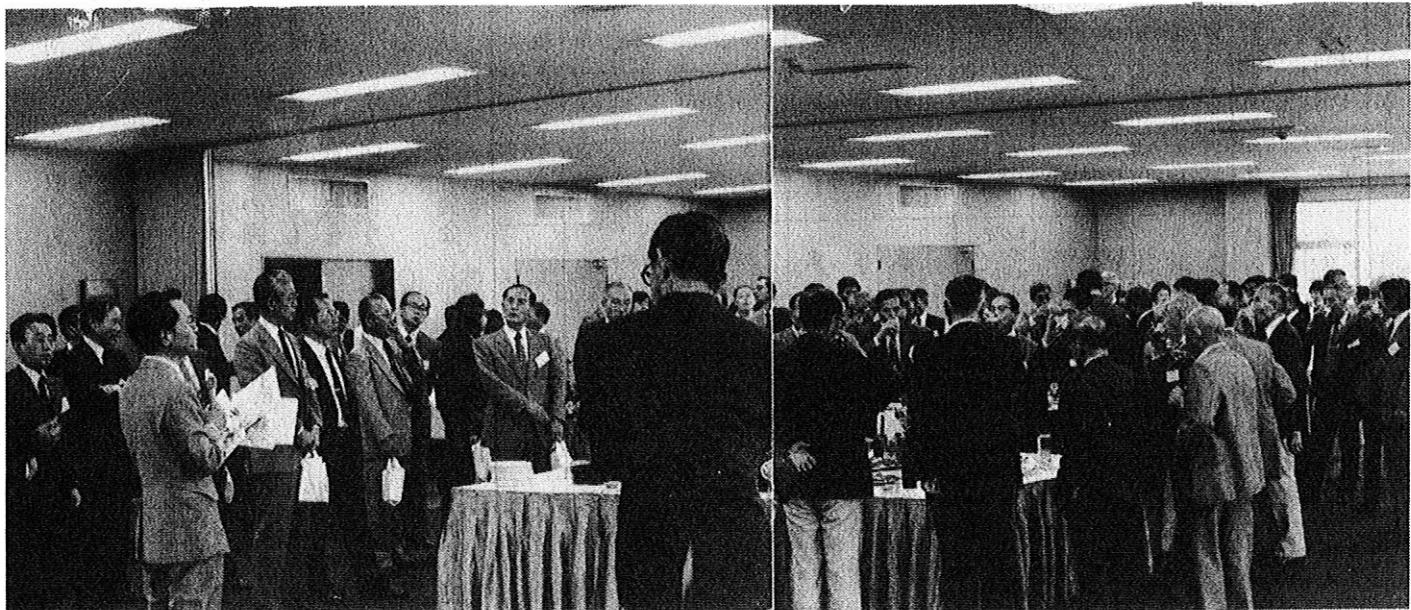


東京龍門会報

発行所
東京都品川区五反田2-21-20
株式会社 国分電機内
電話(445)6311
東京龍門会
発行人 国分和夫

10周年を 迎えた 東京龍門会



記念行事の企画で 会場は賑わう

関東地方に存する加治木高校の同窓生の親睦と福祉増進を図り、あわせて母校の発展に寄与することを目的に発足した東京龍門会が、今年で10周年を迎えた。会員も当初の数百名から今では二千数百名にも達する有様で、県下でも有数のマンモス同窓会に発展してきた。

その総会が例年の会場である三州俱楽部(品川区上大崎)で、10周年を記念し盛大に開催された。総会には明治年代に卒業されたという大先輩から、旧高女卒の先輩を含め昭和五十年代卒業の同窓生約八〇名が参加した。郷里の方々から同窓会会长の新納教義氏(、母校の渕脇正男校長。また恩師の紫田素男先生(大15→昭8在職英語担当)も来賓として例席された。

今年は10周年に当たるため総会に入る前に記念行事の一つとして、浜田尚友氏による時局講演が行なわれ、また豪華賞品が当る三角くじなどが企画されたりした。そして参加者全員に記念品として、郷里の銘酒“アサヒ焼酒”と高級

小鉢が贈られ参加者に大変喜ばれた。

総会は東京龍門会会长の国分和夫氏のあいさつで始まり、新納教義同窓会会长、母校の渕脇正男学校長とそれに来賓の柴田素男先生からそれぞれあいさつがあり、続いて安田清廣氏より東京龍門会発足の経緯から当時の模様など今日に至る10年の歩みについて話があり、議事に入った。

会費納入にご協力を

議事は57年度の事業活動と会計の監査報告ならびに58年度の事業計画と予算案の審議が行なわれた。いづれも満場一致で承認された(別項参照)が、会費納入の件につき57年度は納入が遅滞しがちであったため、会の事業運営に支障をきたしてきた。58年度はこのようなことのないよう、会費の納入について早めに納入していただきよう会員各位の協力をお願いする旨の要請があつた。

会員所在の情報

また56年度に作成された名簿もその後多くの会員の方々の変更が出てきているため、より正確な名簿を作成しなお

山崎豊子著
(週刊新潮)に連載中の
「ふたつの
祖国」の主人公(伊丹明氏)を主

人公に来年

したいので、住所、勤務先、電話等に移動のあつた人は、また知り合いでそのような人がおられたら各期の幹事の方

が、直接事務局03(45)六三一
一の西川まで情報を提供してくださるよう要望があつた。

NHK大河ドラマに

母校の先輩が登場か

総会での各氏による詳細な

あいさつは

紙面の都合で割愛させ

てもらいま

すが、新納

同窓会会长から加治木

高等学校教

育振興会助

成への協力

に対しお礼

を述べられ、

また昨年の

総会で話さ

れた同窓生

伊丹明氏

昭和58年度計画案

- (1) 58年度総会の開催
 - (2) 会報(8号)の発行 東京龍門会10周年特集号
 - (3) 会員名簿(5号)の発行、総会欠席者に対する年会費払込方の通報
 - (4) 同好会の企画・立案と実施
- ・第4回囲碁の集い ・ゴルフコンペ ・その他

昭和58年度収支予算案

収入の部				支出の部			
科 目	57年度決算	58年度予算	摘要	科 目	57年度決算	58年度予算	摘要
1 総会費	451,000	550,000		1 総会費	391,700	550,000	
2 年会費	1,004,150	1,200,000		2 会報関係費	219,440	230,000	
3 名簿広告収入	0	1,000,000	1ワク 20,000 ×50口	3 通信費	256,200	560,000	
4 預金利息	6,622	10,000		4 会議費	72,590	100,000	
5 振興会寄付金	297,400	100,000		5 関東鹿児島県人会広告費	0	60,000	
6 その他の寄付金	37,000	30,000		6 事務費	14,380	30,000	
7 前年度の繰越金	17,226	532,583		7 同好会補助費	29,105	150,000	
				8 名簿作成費	0	900,000	
				9 振興会寄付金	297,400	100,000	
				10 予備費	0	200,000	
				11 次年度繰越金	532,583	542,583	
合 計	1,813,398	3,422,583		合 計	1,813,398	3,422,583	

のNHK大河ドラマで取りあげることになった。当然のことながら伊丹明氏のことを取りあげるであろうし、そうすれば加治木中学(現加治木高校)を取材し、テレビの画面に登場するであろうことも考えられ、私は今からそれを楽しみにしているというよ

なことを話された。渕脇学校長は新納同窓会記の方々であった。
なお三角くじの当選者は左記の方々であった。
一等 横山国美(中30)
二等 泊正徳(中27)
三等 宮原信吉(中41)
四等 西川恵造(中29)
五等 森功実(中20)
六等 彦野すみ子(女20)
七等 大内公子(高2)
八等 永長隆徳(高3)
九等 大久保良子(高5)
十等 児玉正徳(高3)

☆ ☆ ☆

●ありがとうございました。加治木高等学校教育振興会寄附者名

東京龍門会

57.9.6~58.4.18



入金月日	氏 名	卒業年度	金額	入金月日	氏 名	卒業年度	金額
57.9.6	福元俊雄	高11	2,000	57.12.10	細山文樹	高1	2,000
10.29	鵜禾繁敏	中41	10,000	14	司西健	高4	5,000
11.4	中村正敏	中26	10,000	15	上宮代千子	中37	20,000
5	斎田トシ	女20	2,000	15	中宮洋	高4	3,000
9	持留史	中32	4,000	18	幸三勝	中43	10,000
12	伊地隆季	中43	10,000	27	男巳子	中20	100,000
12	口道哉	高2	8,000	27	松屋内	高4	1,000
19	中馬緒雄	中32	8,000	58.1.14	庄堀義	女21	5,000
18	柳辰逸	中39	3,000	2.17	渕玉北	高8	3,000
18	前田稔	中9	5,000	22	元矢	高2	6,000
27	市来明	中41	2,000	22	裕	中36	5,000
12.11	大福幸	高2	3,000	25	口	中34	20,000
6	崎裕	高20	2,000	58.4.18		高14	4,000

ミ一通信

同時代の友達も数少なくなっています
ると思いますが、毎日三〇分ぐら
いでいいそですから散歩だけで
もして余生を楽しくお送り下さい。

(中・昭二卒 中村政敏)

ハイツ二〇一五八二一四五七一
(中・昭六卒 伊藤祐正)

○去年の五月脳卒中でたおれて以
來現在療養中です。

(中・昭六卒 枢山徹夫)

○十一年間執筆を続けた「明治維
新と薩摩人」を本年末までに完結
し、来年は単行本として上梓する
つもりでいます。

(中・昭六卒 浜田隆忠)

○元気で毎日通勤しています。最
近漢詩作りにのめりこんでいます。

(中・昭七卒 立山清治)

○母校創立八十周年の記念行事に
合わせて同窓会関東地区支部東京

(中・昭七卒 濑戸口紀夫)

龍門会を設立。昭和四八年六月二

○今年六八才、中卒後海軍、会社

日に総会を開いてから早や十年、

数社海上自衛隊また民間企業と移

会員のご協力により基盤も固まり

り、五六六年から鎌倉の鶴岡八幡宮

年々盛大になりつつあることは誠

にご同慶のいたりです。今後も皆

様のご理解ご支援で飛躍発展を祈

念します。

(中・昭二卒 若松文保(前会長))

○年令のせいとはいえ最近友達が

○今年三月末にてサラリーマン生

が、腕の方はサッパリでコンペ等

活動を卒業し、目下第二の人生に向

櫛の歯の欠けるよう亡くなつて

つて考慮中です。

○東京龍門会の十周年に当り発足

(中・昭十二卒 中馬義直)

當時のことを思い出し、当時の世

(中・昭十三卒 小城正)

話役の一人としてまことに感無量

○フジ出版社から「謀略・第二次

です。会長始め幹事の諸兄のご努

世界大戦秘史」という訳書を出し

力により今日の盛会を見るに至つ

ましたのでご覧ください。今年は

たことを心から感謝申しあげます。

(中・昭十四卒 安田清廣)

阪の龍門会には良く出席していま

したが、東京は新入につきよろし

くご指導お願ひします。

(中・昭十四卒 岩間弥)

福し母校建学の精神を心の奥深く

秘めて共にキバイモンソや。

(中・昭二卒 大八木敏夫)

○ヘルニアのため歩行困難です。

台で静かな処です。お立寄りくだ

さい。港区赤坂四一五一十七赤坂

○事務所が赤坂の山脇短大裏の高

